

岡谷市テニス協会

1 岡谷市テニス協会の沿革

昭和35年

- 岡谷ローンテニスクラブ結成
岡谷ローンテニスクラブ規約制定・長野県庭球協会に加盟
- 岡谷ローンテニスクラブ結成記念大会
- 第1回南信選手権大会
- 第1回前野盃争奪クラブトーナメント

昭和36年

- 岡谷市体育協会に加盟
岡谷市体育協会硬式庭球部発足
- 岡谷市体協硬式庭球部発足記念トーナメント
- 硬式テニス講習会開催

昭和37年

- 朝日生命テニス教室開催

昭和38年

- 信大（農学部）親善対抗試合

昭和40年

- 体協硬式庭球部消滅

昭和44年

- 長野県庭球協会副会長に佐藤修一が就任

昭和45年

- 岡谷市体育協会硬式庭球部復活

昭和46年

- 長野県庭球岡谷大会始まる

昭和49年

- 早起き硬式テニス始まる

昭和50年

- 岡谷市庭球協会に改称
- 岡谷市民硬式テニス大会始まる
- 室内テニス教室始まる
- 三重国体に佐藤修一が監督として出場

昭和51年

- 長野県庭球室内選手権大会始まる

昭和53年

- 長野国体開催される
- 佐藤修一転勤により離岡
- 長野県庭球協会副会長に飯田庄吉が就任

昭和54年

- 岡谷市庭球協会個人加盟から団体加盟に移行
- 婦人テニス教室始まる

昭和55年

- ジュニアテニス教室始まる

昭和56年

- 指導部・競技部・総務部発足する
- 協会杯・クラブ対抗戦始まる

昭和57年

- 岡谷市テニス協会に改称

昭和58年

- 会員のしおり創刊

昭和59年

- 婦人部発足する
- 長野県テニス協会30周年記念表彰受賞
岡谷市・岡谷市テニス協会・諏訪湖ローンテニスクラブ
特別功労者表彰⇒飯田庄吉

昭和60年

- 長野県テニス協会副理事長に井上喜重郎が就任
- ジュニア部発足する
- 南信テニス連盟発足

昭和61年

- 婦人部は女子連へ発展的に解消

昭和62年

- 早朝部発足する
- 井上喜重郎転勤により離岡
- 早朝リーグ戦始まる

昭和63年

- 岡谷市テニス協会規約改訂，会計規程・表彰規程を制定
- 長野県テニス協会副理事長に帖佐修平が就任

平成元年

- 岡谷市体育振興功績有功章受賞 飯田庄吉
- サングリーンテニスクラブ10周年記念事業挙行

平成2年

- 長野県スポーツ振興有功章受賞
岡谷市テニス協会 飯田庄吉

平成3年

- 岡谷市テニス協会創立30周年記念事業挙行

2 創 立 期

(1) 発足までの経過

長野県では戦前より軽井沢で避暑客等によりテニスが盛んに行われ，東京の荒井庄平・室生朝巳・朝吹磯子等による財団法人軽井沢庭球倶楽部がテニスコートを保有し，夏期全国のテニスプレーヤーを招待し軽井沢トーナメントを開催する等，テニス愛好者の楽しい集いの場所になっていた。松本市に昭和27年，日大庭球部を創立した杓掛源生が帰郷し，山本清一郎等とテニスグループを結成，昭和29年4月10日松本ローンテニス倶楽部が山本清一郎・杓掛源生・折井仲三郎・二木隆・呉真一・山田安生・千野泉・山田忠宏が発起人になり会員70名の長野県初めての庭球団体として誕生した。

昭和30年10月22日，松本ローンテニス倶楽部が中心になり，長野・上田・飯田・軽井沢・塩尻の



写真1 吉村県体協会長より有功章を受ける原会長

愛好者に呼び掛け長野県庭球協会の結成式を挙
行し、同時に松本市県営テニスコートにおいて第1
回長野県庭球選手権大会を開催した。同年長野県
体育協会および日本庭球協会への加盟を承認さ
れ、名実ともに揃った長野県庭球協会が発足した。

(2) 岡谷ローンテニスクラブ結成

昭和35年、県内や全国的な硬式テニスの愛好者
の増加につれて、市内の各企業への転勤者や高校、
大学での硬式テニス経験者の帰郷等によりテニス
グループ結成の機運が高まり、市体育協会および
軟式庭球役員の後援を得て西川武夫(帝ピス)北
村晴夫(帝ピス)飯田庄吉(帝ピス)楠山紀夫(オ
リンパス)征矢功(オリンパス)浜稲雄(岡谷東
高校)が中心となり、昭和35年3月4日に岡谷市
役所において、岡谷ローンテニスクラブの発会式
を行い同年3月6日長野県庭球協会に加盟を承認
された。

会員25名で発足した岡谷ローンテニスクラブ
は、昭和35年5月8日クラブ結成記念トーナメント
を行った。

決 勝

西川 武夫(6-2, 6-2) 飯田 庄吉

昭和35年10月30日岡谷市民新聞社、岡谷市体育
協会、岡谷市教育委員会主催、岡谷ローンテニス
クラブ主管による第1回南信選手権大会が南信地

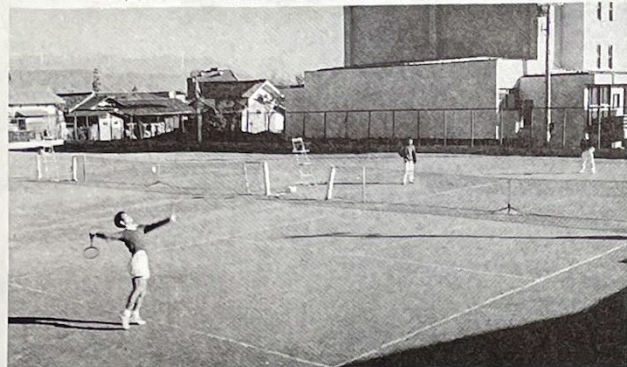


写真2 第1回南信選手権大会決勝戦

方で初のテニストーナメントとして盛大に挙
行された。

決 勝

角田 憲治(6-1, 6-3) 清水 賢二

昭和35年8月21日第1回岡谷ローンテニス
トーナメントが行われた。

決 勝

角田 憲治(6-2, 7-5) 飯田 庄吉

この岡谷ローンテニストーナメントは以後笠原
運動具店の後援のもと、前野杯争奪クラブトー
ナメントとして継続発展していった。

*岡谷市営テニスコート(現図書館)3面

使用料1面午前250円、午後300円 1名20円

*昭和35年8月1日岡谷工業高校に10名のテニス
グループが誕生した。代表中島益男先生

(3) 岡谷市体育協会加盟

岡谷ローンテニスクラブは、岡谷・諏訪地方初
のテニスグループとして硬式テニスの普及発展と
競技力向上、また地域スポーツとしての定着を願
い市体育協会に加盟を申請し、昭和36年3月市体
育協会理事会において加盟を承認され、岡谷市体
育協会硬式庭球部が発足した。

部長 此田滋 副部長 征矢功 飯田庄吉

昭和36年5月21日岡谷市体協硬式庭球部発足記
念トーナメントが行われた。

優勝 飯田 庄吉

(4) その後の歩み

昭和36年9月21日硬式テニスの健全な普及発展
を目的の硬式テニス講習会が開催された。

主 催 岡谷市教育委員会・岡谷市体育協会・岡
谷ローンテニスクラブ

講 師 松本ローンテニスクラブ(山本清一郎他

7名) 参加者25名 注意事項 ラケット
持参・運動靴・上下白着用



写真3 松本よりテニス教室の指導に来岡の
(故) 山本会長 S36年

諏訪地区唯一のテニス団体として富士見・茅野・諏訪・下諏訪のテニス愛好者が岡谷に集まり合同練習するようになり、岡谷が諏訪地区のテニスの中心地となり会員も100名を擁し指導的な立場になった。昭和42年藤森吉彦(現姓藤原)が国体県予選で優勝し、北信越予選に駒を進め、昭和50年には第30回三重国体に出場を果たしている。

また昭和43年三村明(現プロ)は、国体県予選に優勝し北信越予選に出場、昭和45年には第25回岩手国体に出場を果たしている。岡谷ローンクラブ員として輝かしい活躍の藤森・三村は、以後それぞれ市町村単位の庭球協会設立と共に中心的役割を果たすことになる。また県大会には佐藤修一・飯田庄吉・井上喜重郎が上位入賞している。一方選手の輝かしい活躍とは裏腹に、岡谷市体協硬式庭球部の活動は昭和39年より低迷し、自然消滅の形となっていたが、公式戦も多くなり地区体育協会に加盟していることが出場条件となり、昭和45年6年ぶりに再加盟することとなり、7月24日岡谷市体育協会第19番目の部として加盟が認められた。

部長 辛山 永松
副部長 飯田 庄吉 井上喜重郎
佐藤 修一

(5) 年次別大会結果

昭和36年

第2回前野杯争奪クラブトーナメント
(8月6日)
優勝 飯田 庄吉(帝ピス)
第2回南信選手権大会(10月8日)
優勝 藤村 幸男(三協)

昭和37年

第3回前野杯争奪クラブトーナメント

昭和37年岡谷ローンテニスクラブ理事制を導入

理事長 此田 滋
会計 飯田 庄吉
企画 征矢 功
監事 佐藤 修一
理事 花沢 衛 中島 益男
藤村 幸男

昭和37年6月24日、テニスの全国的普及を目指して朝日生命厚生事業団が昭和30年代から県内松本・上田で開催していた朝日生命テニス教室が岡谷市営コートにて初めて行われた。

講師 藤川 博 岡部 堅二
南 操二 橋本 直視
宮崎 次郎 鈴木 道弘

参加者30名

注意事項：各自ボールラケット持参

昭和40年代に入り岡谷ローンテニスクラブは、

(5月20日)

決勝

藤村 幸男 (6-3, 6-0) 千田 博之

第1回長野県富士トーナメント (11月17日)

複3位 飯田 (岡谷)・岡田 (松本)

昭和38年

第9回長野県選手権大会 (7月20・21日) (松本)

複準決勝

山口・間宮 (6-3, 6-1) 飯田・佐藤
(松本) (岡谷)

単2回戦

柳沢 (松本) (6-2, 6-2) 佐藤 (岡谷)

白沢 (松本) (6-2, 6-2) 飯田 (岡谷)

第4回前野杯争奪クラブトーナメント

(9月16日)

決勝

藤村 幸男 (6-3, 0-6, 6-4)
佐藤 修一

第3位 中村 宣弘 安川 勝利

信大農学部対岡谷ローンテニスクラブ対抗戦

(10月16日)

岡谷 3-4 信大

単: 飯田 6-1 石橋 中村 4-6 寺田

征矢 6-0 中村 佐藤 2-6 高木

複: 小松・土橋 (6-0, 6-1) 笠原・田島

吉池・野平 (1-6, 1-6) 石橋・寺田

岡・此田 (10-12, 3-6) 高木・大島

昭和39年

第19回長野県総合体育大会兼国体県予選

(4月4・5日) (松本)

男子一単: 第3位 飯田 庄吉

昭和41年

長野県庭球選手権大会 7月2・3日 (上田)

男子単: 第3位 佐藤 修一

昭和42年

第16回長野県総合体育大会兼国体県予選

7月22日 (開智ローン)

男子一単: 決勝

藤森 吉彦 (4-6, 6-2, 6-3)

山本 征史

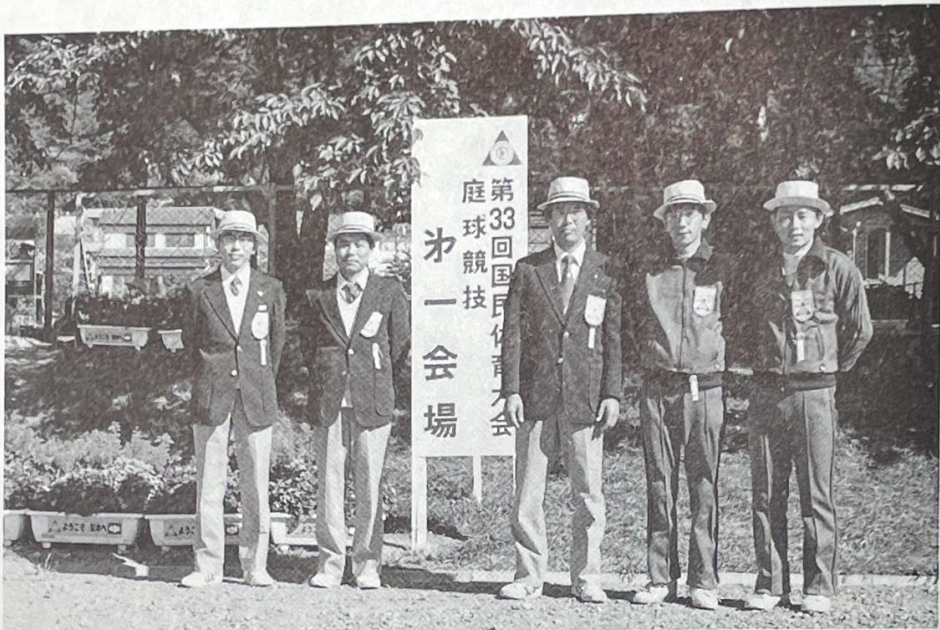


写真4 S53年やまびこ国体テニス役員
佐藤審判長 飯田総務委員長 藤原記録報道委員長

昭和43年

第17回長野県総合体育大会兼国体県予選

(7月6・7日) (松本)

男子一単：決勝

三村 明 (6-3, 6-1) 山本 征史

第8回前野杯争奪クラブトーナメント

(10月6日)

決勝

佐藤 修一 (6-0, 6-4) 片田 達雄

第3位 井上喜重郎 高橋 修一

(6) やまびこ国体

昭和50年長野県庭球協会の規約改訂により市町村単位の加盟に移行することになり、岡谷市体協硬式庭球部は、岡谷市庭球協会と改称した。

昭和53年長野県において、第33回やまびこ国体が開催され、庭球競技は10月16～19日松本市で全国37都道府県代表チームの参加で開かれ、長野県チームは善戦したが全国レベルは高く、成年男女・少年男女ともに一回戦で惜敗した。岡谷市庭球協会も大会役員として多数参加し大会運営に携わり、成功裏に終了することができた。

(7) 組織の一本化

昭和35年岡谷ローンテニスクラブが創立され長野県庭球協会に加盟して以来、諏訪地区一円のテニス愛好者の熱意により着々と硬式テニスの普及も進み、また佐藤修一が県庭協副会長に就任しクラブ員の県大会での活躍や国体出場により、岡谷が南信地区の中心になった。昭和53年やまびこ国体を期にテニスブームが一段と加速し、テニスの普及や強化およびテニス人口増大に対処するため組織の整備が必要になった。

長野県庭球協会に加盟している岡谷ローンテニ

スクラブと、岡谷市体育協会に加盟している岡谷市庭球協会を一本化し、新たに岡谷市庭球協会として長野県庭球協会・岡谷市体育協会に加盟し、岡谷市庭球協会は加盟団体をもって組織すること、加盟団体は10名以上で構成し理事1名以上を選出し理事会を組織その決議により協会を運営することに変更した。

岡谷ローンテニスクラブは1クラブとして岡谷市庭球協会へ加盟し、クラブ員は分散独立し団体加盟を促進した。

3 岡谷市テニス協会行事の歩み

(1) 長野県庭球岡谷大会

昭和44年、佐藤修一が長野県庭球協会の副会長に就任、このころ県下のテニスの中心は松本・上田で、国体県予選・県庭球選手権大会等大きな大会はすべてテニスコートの整備された松本・上田で開催されていたが、県のスポーツ振興の施策と県庭球協会の競技力向上事業の一環として、各地で県大会を開催して競技力向上と、競技人口増大を図るべく、南信地区の中心地岡谷での県大会開催が決まり昭和46年第1回長野県庭球岡谷大会が、長野県庭球協会・岡谷市教育委員会・岡谷市体育協会主催、岡谷ローンテニスクラブ主管、昭和ゴム株式会社後援により岡谷市営コートにて開催された。

〈大会結果〉

長野県庭球岡谷大会の20年

回	年月日	種目	決 勝	三 位	参加者数
1	46.8.22	男子単	三村明(6-2) 伊藤祐一	山本征史・池田邦行	40
		男子複	三村・三村(6-1) 山本・池田	伊藤・小林 飯沼・小山	
		女子単	成沢紀美子(6-2) 栗山	春日末子・柳沢公子	
		男子複	成沢・栗山(6-4) 柳沢・大菅	友野・春日	
2	47.8.20	男子単	三村明(6-3) 藤森吉彦	伊藤祐一・輪湖晃	34
		複	三村・三村(6-5) 中村・輪湖	伊藤・伊藤 浜・望月	
		女子単	降幡とく子(6-3) 堀口百合子	柳沢公子・比護正子	
		複	降幡・橋原(6-1) 柳沢・比護	有賀・鈴木	
3	48.6.10	男子単	三村明(6-3) 藤森吉彦	井出清文・中村宣弘	52
		複	三村・中村(6-3) 藤森・白沢	井出・諒 飯田・藤村	
4	49.6.23	男子単	新村均(6-1) 諒勉	三村明・藤森吉彦	52
		複	新村・諒(6-2) 三村・三村	藤森・名取 白沢・小松	
		女子単	内川小百合(6-1) 森下きよ子	高橋隆子・小林信子	
		複	内川・小林(6-3) 高橋・栗山	三井・伊藤 幅・森下	
5	50.6.15	男子単	三村明(6-3) 諒勉	小松高志・三村功	38
		複	三村・諒(6-4) 小松・高山	三村・浜 輪湖・望月	
		女子単	市野涼子(6-2) 山本近代	矢沢洋子・内川小百合	
		複	内川・山本(6-1) 金井・矢沢	市野・関谷 梶川・吉池	
6	51.6.27	男子単	藤森吉彦(6-4) 三村明	赤坂剋矢・浜正英	40
		複	三村・赤坂(7-5) 藤森・大浦	浜・小松 弓田・西川	
		女子単	山本近代(6-3) 内川小百合	奥原真佐子・矢沢洋子	
		複	内川・矢沢(6-3) 山本・奥原	白井・島 二階堂・日比野	
7	52.6.5	男子単	小松高志(6-4) 荻原邦彦	藤原吉彦・若月明	38
		複	荻原・松浦(6-2) 若月・田中	藤原・小松 白沢・弓田	
		女子単	内川小百合(6-3) 矢沢洋子	奥原真佐子・唐沢博子	
		複	内川・矢沢(6-0) 奥原・島	有賀・唐沢 大塚・市川	
8	53.8.6	男子単	藤原吉彦(6-3) 小松高志	小松深志・白沢健夫	36
		複	小松・小松(6-1) 松浦・中曾根	弓田・白沢 志茂野・小口	
		女子単	有賀美智子(6-2) 黒石きぬ子	林里美	
		複	黒石・有賀(6-1) 林・津金		
9	54.9.16	男子単	若月明(7-5) 飯田正吉	穂坂節・林信行	33
		複	尾形・菊池(7-5) 若月・田中	井門・羽山 成沢・林	
		女子単	牛山秀子(6-3) 矢沢洋子	尾又道子・小池いみ子	
		複	矢沢・牛山(6-2) 田中・佐藤	尾又・小池 小口・平出	
10	55.6.29	雨天中止			
11	56.6.7	男子単	文挟広信(7-5) 菊池猛	田中義規・石井壯	25
		複	菊池・尾形(6-4) 岡・文挟	井門・羽山 小口・牛山	
		女子単	矢沢洋子(6-2) 牛山秀子	小林久子・小沢康江	

12	57.6.6	複 矢沢・牛山 (6-1) 小林・小沢 男子単 小松深志 (6-3) 小松高志 複 小松・小松 (7-6) 藤原・今井 女子単 矢沢洋子 (7-6) 牛山秀子 複 矢沢・牛山 (6-3) 長か・荻原	三沢・尾又 関・米倉 藤原吉彦・高津照一郎 鈴木・林 関谷・佐藤 小坂のり子・荻原志ほ 岩井・望月 田中・佐藤	5 57 28 14 9
13	58.6.19	岡谷市営テニスコート 鳥居平テニスコート 男子単 小松高志 (6-0) 深沢亨 複 吉田・市川 (6-1) 三村・小林 女子単 木下美奈子 (6-3) 伊藤敏美 複 小林・小沢 (6-2) 木下・松尾	飯田光穂・小松深志 山田・森田 藤原・今井 岩井幸美・江森美鈴 小口・尾又 増田・黒崎	58 25 10 8
14	59.6.17	岡谷市営テニスコート 諏訪ソフトテニスコート 男子単 小松高志 (6-4) 小林洋一 複 小林・丸山 (6-4) 穂坂・小林 女子単 尾又道子 (6-1) 岩井幸美 複 奥村・藤森 (6-4) 百瀬・有賀	今井博一・飯田光穂 今井・藤原 増田由美子・有賀明子 江森・高山 増田・中村 下諏訪町営テニスコート	60 27 16 5
15	60.6.16	岡谷市営テニスコート 諏訪ソフトテニスコート 男子単 小松高志 (6-2) 宮井孝博 複 三村・小林 (6-2) 吉田・市川 女子単 佐藤朋江 (6-2) 小口真由美 複 佐藤・早乙女 (6-2) 平野・高山	若月明・今井博一 可知・佐々木 伊藤・大田 藤森八千代・高山恆美 藤森・小尾 小口・中畑	87 41 18 11
16	61.6.22	岡谷市営コート 男子単 若月明 (6-4) 今井博一 複 三村・小林 (3-0) 伊藤・飯田 (2-1) 青木・高山 (1-2)	白鳥淳・山本輝男	99 41
		上位4チームによるリーグ戦 すがの台テニスクラブ (8.17)		
		女子単 小坂のり子 (6-2) 尾又道子 複 三村・小沢 (6-0) 小川・尾又	藤森八千代・小尾順子 上条・丸山 白井・海野	24 1
17	62.6.21	雨天中止		
18	63.7.17	岡谷市営コート 一般男子 1位 今井博一 2位 馬場照夫 3位 牧野嘉春・羽田和之 壮年男子 1位 内田喜之 2位 岩井忠善 3位 梅津雅彦・野村広園 一般女子 1位 西尾洋子 2位 北沢綾香 3位 藤森保代・北原由貴子		
19	H1.7.2	岡谷市営コート・諏訪湖テニスクラブ 一般男子 1位 若月 明 2位 斎藤芳宏 3位 内山耕一・阿藤 満 男子35歳以上 1位 伊藤憲郎 2位 帖佐修平 3位 坂田富男・畑中義明 男子45歳以上 1位 山本英男 2位 梅津雅彦 3位 飯田庄吉・岩月和彦 一般女子 1位 輪湖文恵 2位 宮下千浪 3位 代田美恵子・宮島真子		
20	2.7.2	岡谷市営コート・諏訪湖テニスクラブ 一般男子 1位 小林正則 2位 小林松孝 3位 雪入祐次・小松功実 男子35歳以上 1位 柳沢千秋 2位 中村淳 3位 宮坂守・畑中義明 男子45歳以上 1位 弓田行宣 2位 大田克孝 3位 山本英男・松島敬一郎 一般女子 1位 面高まつみ 2位 輪湖文恵 3位 代田美恵子・佐藤信子		
21	3.6.30	岡谷市営コート 男子35・45歳の部雨天中止		

一般男子	1位	小林正則	2位	若月明	3位	内山耕一・伊藤謙也
一般女子	1位	峯村裕子	2位	面高まつみ	3位	伊藤敏美・宮下千浪

(2) 早起きテニス

昭和49年、岡谷市体協硬式庭球部（部長 井上喜重郎）は、テニス愛好者の増大とともに硬式テニスの普及のため、5月1日より日曜日を除く毎奇数日6時より7時まで早起きテニスとして、定期的継続的な早朝練習が一般市民対象にはじまり、初心者には上級者が当番制で指導に当たった。

会場 市営テニスコート（現図書館）会費1カ月500円 指導者 飯田庄吉・井上喜重郎・辛山永松・佐藤修一 他 岡谷ローンテニスクラブ員

昭和50年、長野県庭球協会は規約改訂を行い市町村単位の加盟となり、それに伴い岡谷市体協硬式庭球部は、名称を岡谷市庭球協会（会長 井上喜重郎）と改めた。岡谷市庭球協会は早起きテニスの参加者の増大と、より硬式テニスの普及発展のため早起きテニス会（会長 井上喜重郎）を組織し運営、指導に当たった。

昭和53年、市営コートが現市役所立体駐車場（2面）に移った。この年の早起きテニスの参加者の中より原光生・三沢圭介・小林康孝・浜野修一・入野友蔵らにより、サンライズテニスクラブ（会長 原光生）が結成された。

昭和54年、サンライズテニスクラブはこれまで岡谷市庭球協会と表裏一体として、岡谷市の硬式テニスの普及振興に当たった岡谷ローンテニスクラブ以外初のテニス団体として、婦人のサングリーンテニスクラブとともに、協会加盟が認められ早起きテニス中心に活動を始めた。市内の自営業者や中小企業勤務者で早朝しかテニスができないサンライズテニスクラブは、昭和55年より早起きテニス会の中核として早起きテニスの推進を協会よ

り委嘱され運営に当たった。

昭和56年、岡谷市庭球協会は、今まで会長や理事長に集中していた組織を整備細分化、総務部・競技部・指導部を設置役割分担を明確にし、増大する加盟団体や会員及び各事業に対応すべく、機能的に完備された現在のテニス協会の母体が出来上がった。早起きテニスにも協会指導部より指導者を派遣し初心者への指導に当り、中上級者は自主練習の形で運営管理はサンライズテニスクラブ員を中心に行われていた。

指導者 飯田庄吉・井上喜重郎・文挾広信・浜光彦・牛山国博・井上勝・宮下三朝・飯島俊治・星康弘・林信行・今井博一・牛山秀子・小坂のり子・その他指導部員

昭和57年、早起きテニスに参加希望者が爆発的に増加し、コート4面に228名の申込が殺到し、急拠毎奇数日を分割し隔日の参加という形を取らざるを得なくなった。コート不足と指導者や運営に対する不満や要望も多岐にわたったが、指導者の育成や1面20名を限度とし80名を定員として運営の改善が行われたにもかかわらず、コート不足は昭和61年の新市営庭球場の開場まで続いた。

昭和61年、テニス愛好者及び一般市民待望久しかった新市営庭球場12面が、市総合体育館前に開場した。水はけが抜群に良く、環境設備も申し分ないグリーンサンドの新市営コートでの早起きテニスには、市民のスポーツ志向と相まって新たな市民の参加も多くなり爽やかな汗を流してからそれぞれの職場、学校、家庭へと向かった。

昭和62年、早起きテニスにおけるテニスの振興普及および競技力向上を目的とする、岡谷市テニス協会早朝部（部長 原光生）が発足した。早

朝部では、協会加盟団体相互の親睦と競技力向上のため早朝リーグ戦を開始した。

早朝リーグ

昭和62年	男子	1位	TP (前期)	TP (後期)
		2位	サンライズ (前期)	マウント2 (後期)
		3位	市役所 (前期)	サンライズ1 (後期)
	女子	1位	ロビング2	
		2位	岡谷ローン	
		3位	ファミリー	
昭和63年	男子	1位	ジョイテニス	11勝1分
		2位	マウント2	9勝3分
		3位	帝ピス	8勝5敗1分
	女子	1位	ロビング1	9勝1敗
		2位	岡谷ローン1	7勝2敗1分
		3位	岡谷ローン2	7勝3敗
平成元年	男子	1位	エコー	8勝1敗
		2位	マウント2	7勝1敗1分
		3位	岡谷ローン	7勝1敗1分
	女子	1位	諏訪湖テニス	9勝1敗
		2位	サングリーン	9勝1敗
		3位	ロビング	4勝7敗
平成2年	男子	1位	諏訪湖テニス	13勝1敗
		2位	岡谷ローン	9勝2敗2分
		3位	マウント2	10勝2敗1分
	女子	1位	諏訪湖テニス	15勝0敗
		2位	コスモス	12勝2敗
		3位	なでしこ	9勝5敗
平成3年	男子	1位	諏訪湖テニス	14勝2敗1分
		2位	サンライズ	14勝2敗
		3位	岡谷ローン	12勝4敗
	女子	1位	諏訪湖テニス	5勝0敗
		2位	サングリーン	4勝1敗
		3位	エコー	3勝2敗

(3) 岡谷市民テニス大会

昭和50年8月31日、硬式テニスの普及振興と競技力向上を目指し、市民だれもがテニスに親しむ

大会として岡谷市庭球協会では、岡谷市民新聞社・(財)岡谷市体育協会・岡谷市教育委員会の協力のもとに、第1回岡谷市民テニス大会を開催した。種目はシングルス・ダブルスともに男子の部が上・中・初級と女子の部で試合形式は6-6の12ポイントタイブレーク方式を採用した。初の市民大会開催に当り、シングルス男子上級優勝者に岡谷市民新聞社賞、シングルス女子優勝者に岡谷市教育委員長賞の大トロフィーが奇贈された。参加人数45名がシングルス及びダブルスに覇を競った。



写真5 第1回市民大会

昭和51年8月14日、第2回市民大会が女性5名を含み総参加人数29人で開催され、市民新聞の広告及びハガキによる参加PRなど行い、学生から69歳までの選手が参加した。最高齢の宮坂金四郎



写真6 第3回市民大会優勝 飯田庄吉

先生健闘される。

昭和52年8月15日、第3回市民大会が女性4名を含み45名の参加で開催、最高齢70歳の選手も元気でプレーされた。女性のシングルスはリーグ戦形式がとられた。

昭和53年8月14日、第4回市民大会が16歳から60歳までの70名の参加で開催された。この大会から女性の参加者が増え男女比3:1となった。試合形式は1回戦のみ6ゲーム先取で行われ、2回戦以降は時間不足により4ゲーム先取で行われた。

昭和54年8月19日、第5回市民大会は85名の参加で開催された。女性の参加者が増えたためこの大会から女子の部を2クラスに分けた。試合形式はすべて4ゲーム先取で行われた。

昭和55年8月3日、第6回市民大会は56名の参加で開催された。女性参加者の約半数は主婦でその活躍が目立った。試合形式は6ゲーム先取で行われた。

昭和56年、第7回市民大会は、参加総数236名の大規模の大会となった。テニス人口の急増で市民大会の参加者が多くなったため、大会の開催日をシングルの部と、ダブルスの部の2日に分けることになった。女子の種目が上・中・初級の3クラスになった。

昭和57年、第8回市民大会ダブルスの部では、75チーム150名の参加者となり、シングルの部の131名と合わせ参加総数280名の大会となる。男子シングルス上級の部では、日没後も続き初のナイター試合となり、決勝戦は夜10時を過ぎた。

昭和58年、第9回市民大会シングルス・ダブルスの部とも予定日が雨となり、9月18日同時開催となった。総参加人員142名、男子シングルス中級の部は日没により順位決定戦をせず、やまびこ公

園コートと市営コートの2ブロックの順位となる。

昭和59年、第10回市民大会ダブルスの予定日は雨のため10月14日に開催され、シングルの部上級クラスは、男女とも8-8の12ポイントタイプレークゲームとなった。総参加人員245名。

岡谷市民テニス大会10周年を記念し、従来のトロフィーは優勝者に贈呈し、新たに男子上級クラスシングルス及びダブルス優勝者に優勝杯(岡谷市民新聞社杯)が、女子上級クラスシングルス及びダブルス優勝者に優勝杯(教育委員会杯)が送られた。岡谷市テニス協会では、市民テニス大会10周年を記念し7月8日記念祝賀会をホテルオークニにて開催した。祝賀会には、市民新聞社・体育協会・教育委員会、その他今まで支援を頂いた方々を招待し、テニス協会役員及び会員有志の参加のもとに、10年間を総括するとともに新たな発展を誓い合った。

昭和60年、第11回市民大会シングルの部は156名の参加で開催され、市営コート・やまびこ公園コート・スワコソフトテニスコートの3会場にて行う。ダブルスは雨天順延により8月25日に81ペアが汗を流した。

昭和61年、第12回市民大会シングルスに190名が、新装成った新市営コートの感触を十分に満喫しつつ熱戦を繰り広げた。男子40歳以上の壮年の部が加わり、若者に負けないプレーを披露した。ダブルスの部にセルフジャッジ制が導入され90ペアが覇を競った。

昭和62年、第13回市民大会シングルス・ダブルスともにセルフジャッジ制が導入された。転勤により離岡の決まった井上会長は男子壮年のシングルス・ダブルスともに優勝する。ダブルスにミックスが加わり微笑ましいプレーが見られた。総参

加数シングルス184名、ダブルス94ペア。

昭和63年、第14回市民大会ミックスの部、息もぴったり小口勝・真由美夫婦ペアが制する。

平成元年、第15回市民大会シングルスは、2年続きの雨のため順延となりお盆に開催される。エントリー109名。

平成2年、第16回市民大会シングルスは3年続きの雨のためお盆に順延となる。

平成3年、第17回市民大会シングルスは男子

A・女子Aを依田和衛・明美夫婦が制する。ダブルスは、テニス協会創立30周年記念イベントの30時間リレーテニス・的当てゲームと同時に開催され、小雨降るなか熱戦を展開した。前日から夜を徹してテニスを続け試合に望む選手も多く、文字通りテニスに燃焼し尽くした。

壮年の部決勝は原・飯田組対井上・佐藤組の新旧会長ペアの対戦となる。

市民テニス大会優勝者

大会回数	開催日	男女	種目	1部	2部	3部
1	S50.8.31	男子	S	飯田庄吉		
			D	飯田庄吉・鈴木善博		
		女子	S	花岡恵美子	斎藤重義	山口順一郎
			D	花岡恵美子・柳沢昭子	斎藤重義・金子博	青木俊夫・林智彦
2	51.8.14	男子	S	佐藤修一	石井壮	
			D	佐藤修一・井上喜重郎	八幡巻芳・柳沢岳敏	小口敏
		女子	S	柳沢真由美		吉村弘・林孝二
			D	田中房子・花岡敏江		
3	52.8.15	男子	S	飯田庄吉	今井博一	
			D	飯田庄吉・石井壮	飯島俊治・牛山国博	林智彦
		女子	S	牛山秀子		
			D	牛山秀子・宮坂佳保里		
4	53.8.14	男子	S	神崎博光	辰野元文	
			D	五味久幸・松山敏秀	小口尚・小口敏	内藤良弘
		女子	S	西沢かおる		
			D	牛山秀子・片桐富美子		
5	54.8.19	男子	S	今井博一	米田正永	
			D	小口明彦・清水英二	矢島舜慈・矢島聖	安藤正成
		女子	S	牛山秀子	三沢国恵	土橋康孝・林賢二
			D	野沢真由美・田中のり	江村越京子・清水信子	
6	55.8.3	男子	S	飯田庄吉	三沢圭介	
			D	今井博一・浜好治	原光生・三沢圭介	杉本晋太郎
		女子	S	杉本久仁子	高林悦子	花岡俊彦・花岡基夫
			D	尾又道子・三沢国恵	田中のり江・菊島久子	
7	56.7.5 (D)	男子	S	文挟広信	坂本晃	
			D	鈴木善博・文挟広信	田中信之・田中仁之	上条範夫
	56.7.19 (S)	女子	S	外川七重	山岡昌子	橋爪哲也・中野佳幸
			D	飯島悦代・小西直子	武井かよ子・山岡昌子	花岡さゆり 御子柴知江・山岡京子

8	57.7.4	男子	S	浜光彦	大谷聰	山岡兼吉
	(D)		D	鈴木善博・文挾広信	田中一弘・堀江啓夫	浜牧治・駒村秀幸
9	57.7.18	女子	S	小口朝子	藤森保代	
	(S)		D	小口朝子・小西直子	小口貞子・高橋静子	
10	58.9.18	男子	S	文挾広信	B-1 高橋一博	山岸徹
			D	鈴木善博・文挾広信	B-2 中野佳幸	
		女子	S	帖佐由美子	B-1 中野佳幸・小松由美	今井一敏・柳沢圭吾
			D	帖佐由美子・天野三枝子	B-2 堀芳夫・宮坂学	
11	59.7.22	男子	S	米田正永	塩原高男	藤木光平
	(S)		D	林信行・帖佐修平	山岡永生・小野貞雄	杉川昌輝・江崎宣久
12	S59.10.14	女子	S	小口真由美	市川文子	
	(D)		D	小口真由美・中畑康子	増沢浜恵・谷内豊子	
13	60.7.21	男子	S	帖佐修平	今井勝志	花岡章夫
	(S)		D	林信行・米田正永	小坂健司・小野雅久	織田光一・上条徹
14	60.8.25	女子	S	小口真由美	増沢浜恵	
	(D)		D	吉川・尾又	前田悦子・宮坂きよ美	壮年
15	61.7.6	男子	S	今井博一	藤原宏治	花岡基夫・飯田庄吉
	(D)		D	文挾広信・帖佐修平	上条範夫・笠原昌之	長沼清一・内山秀行
16	61.7.20	女子	S	藤森保代	宮下千浪	
	(S)		D	中畑康子・小口真由美	中田節子・下田美雪	
17	62.7.26	男子	S	文挾広信	山田尚利	赤羽敏一・井上喜重郎
	(S)		D	牛山国博・林信行	花岡章夫・花岡基夫	井上喜重郎・飯田庄吉
18	62.9.6	女子	S	小口真由美	塩沢志津代	
	(D)		D	小口真由美・中畑康子		ミックス 共田仙・塩沢志津代
19	63.7.31	男子	S	浜光彦	山口高志	武井利夫
	(S)		D	林信行・宇都宮久修	福沢久雄・武井利夫	飯田庄吉・原光生
20	63.9.4	女子	S	杉本久仁子	田中久美子	
	(D)		D	中畑康子・杉本久仁子		ミックス 小口勝・小口真由美
21	H1.8.14	男子	S	帖佐修平	武井利夫	林信行
	(S)		D	杉本晋太郎・塩原高男	斎藤勇一・堀江啓夫	
22	1.9.10	女子	S	伊沢洋子	中野真紀	
	(D)		D	田中なおみ・真木裕美子		ミックス 杉本晋太郎・杉本久仁子
23	2.8.14	男子	S	今井博一	矢ヶ崎浩幸	大田浩則・飯田庄吉
	(S)		D	依田和衛・青木秀樹	赤羽敏一・長谷川隆至	牛山国博・林信行
24	2.9.9	女子	S	伊沢洋子	田中なおみ	
	(D)		D	小林光子・花岡徳子		ミックス 藤森隆幸・田中なおみ
25	3.7.1	男子	S	依田和衛	長谷川隆至	柞山浩明・飯田庄吉
	(S)		D	依田和衛・笹川康成	矢ヶ崎浩幸・藤原浩二	飯田庄吉・原光生
26	3.9.8	女子	S	依田明美	林香代子	
	(D)		D	小林光子・花岡徳子		ミックス 浜光彦・依田明美

(4) 婦人テニス

① サングリーンの発足

昭和54年1月、岡谷市教育委員会主催の第1回婦人テニス教室の修了生が、岡谷市庭球協会飯田会長、井上理事長のお世話により、教室以降のテニス継続を目指しサングリーンテニスクラブを結成した。会長菊島久子、副会長北原昌江、会計野口洋子以下13名であった。

名称の由来はサンは太陽でありママサンに通じ、グリーンは緑であり新鮮でみずみずしく活気のあるテニスクラブの意である。当時強い軟式テニスの伝統のはざまにあって何とか岡谷に硬式テニス王国を築きたいとの長期構想の夢実現にはジュニア育成が不可欠であり、そのためにはその母体たる婦人層へのテニスの浸透が必要との強い期待を込めて井上理事長によって命名された。

以後婦人テニス教室の修了生の公認の受け皿として、毎年の教室修了生を受け入れ、コートマナー、ルールの教育、技術的レベルアップ、審判の方法、試合運営の方法に至るまで勉強会をして幅

広く浸透させていった。この後、婦人のテニス層の一本化を目指す協会の強い指導により、すでに活動していた宮沢テニス、OMTと合併して岡谷市庭球協会に加盟を認められた。

② グループ化、リーダー会の組織化

昭和56年以後のテニスブームにより、メンバーの飛躍的増加、目的の多様化に伴い、規約検討スタッフ、トレーニングスタッフの専門プロジェクトチームを組織し、仕事の分化を図り、昭和57年2月サングリーン規約が制定された。この中で画期的なことは、グループ化を推進していることである。毎年の婦人テニス教室の修了者をひとつのグループとして組織し、そのグループごとに会長・副会長・会計を選出している。そしてそれぞれのリーダーが集まりリーダー会を組織し、その決定のもと事業の推進する様式が確立した。この入会年次によるグループ化はサングリーンの苦心の作であり、その後のサングリーンの発展の大きな基盤となっている。

③ 婦人部の発足と女子連へ

昭和59年4月、長野県テニス協会の婦人部発足



写真7 サングリーン10周年記念大会

に伴い、岡谷市テニス協会にも婦人部が発足した。サングリーンの活動は、婦人層に的を絞った試合、講習会の企画から運営まで幅広く実質的担い手として内外から認められた。特に、組織的な試合運営の方法は南信地区のみならず長野県下から高い評価を得、婦人の試合の範となったほどであった。昭和61年、長野県テニス協会から婦人部が独立するとともに、岡谷市テニス協会婦人部も、日本女子テニス連名長野県支部南信ブロックへと発展的に解消した。

④ コートに輝く女たち

平成元年4月24日、サングリーンテニスクラブ創立10周年を記念し、サングリーン10周年記念式典（北原昌江実行委員長）が行われ、記念誌「コートに輝く女達」を発刊し、またシンボルマークを制定した。そして10周年記念大会（牛山秀子大会委員長）が林市長始め多くの来賓を迎え、「集まれ！ 走れ！！ 打て！ 笑え！ 輝け！ コートの女性達よ！」を合言葉に盛大に開催された。

(5) ジュニアテニス

昭和55年、岡谷市庭球協会（飯田庄吉会長・井上喜重郎理事長）は、将来の岡谷のテニス協会を背負い全日本に通じる選手を育成するためには、小中学生ジュニアへのテニスの普及と強化が急務である。そしてこの長期構想のもとに、8月3・4日第1回ジュニア教室をオリンパステニスコート（古屋敷）で開催した。このジュニアテニス教室は、昭和56年以降も夏休み中に会場を市営コートに移して開催された。そのなかには後に長野県を制し全日本にはばたく三沢香織（小3）の姿もあった。同年には第1回岡谷オープンジュニアテニス大会が開催された。

昭和58年、岡谷市教育委員会主催の「豊かな心を育てる施策」事業の少年テニス教室が始まり、岡谷市テニス協会（井上喜重郎会長）は、小中学生選手層の底辺拡大と競技力向上を目指し、積極的に指導に当たり、ジュニアへのテニスの浸透が始まった。

昭和59年、長野県テニス協会創立30周年記念式



写真8 第1回ジュニアテニス教室 S55年8月



写真9 ジュニアテニス教室 右三沢香織 (小井川小3年)

典の席上にて、岡谷市・岡谷市テニス協会・諏訪湖ローンテニスクラブ・飯田庄吉が、ジュニア育成の功績により表彰を受ける。

昭和60年、岡谷市テニス協会(井上喜重郎会長)は、参加希望者の増大とともに、通年活動の推進体制としてジュニア部(原光生部長)を設置し、本格的にジュニアテニスの普及と強化が始まった。また、長野県サーキットチーム(三沢圭介会長)にも積極的に参加し選手強化を推進するとともに、保護者の組織化と協力のもとに外部大会や強化練習に参加し長野県ジュニアテニスの中心となる。昭和63年長野県でショートテニスをいち早く取り入れ、年少ジュニアへのショートテニス導入と強化を図り、全国大会においてトップクラスの成績を得る。

ジュニアの戦績…長野県・北信越・全国大会

◆“トレトンカップ” ショートテニス全国大会

昭和63年

10歳以下 女子2位 谷内はる香 (神明小)
8歳以下 男子2位 谷内 耕平 (神明小)

平成元年

10歳以下 女子優勝 谷内はる香 (神明小)
8歳以下 男子2位 谷内 耕平 (神明小)

平成2年

10歳以下 男子優勝 谷内 耕平 (神明小)
女子3位 武井 路佳 (小井川小)

平成3年

10歳以下 女子3位 吉田 深可 (長地小)
宮沢 亜衣 (川岸小)
8歳以下 女子3位 杉本 仁美 (小井川小)

◆長野県ジュニア選手権大会

14歳女子 優勝 三沢 香織 昭和57・58・59・60年
2位 尾又 綾香 平成2年
12歳女子 優勝 尾又明日香 昭和63年
谷内はる香 平成元・2年
市川 陽子 平成2年
2位 三沢 香織 昭和56年
谷内はる香 昭和63年
平成元年
3位 尾又明日香 昭和62年
谷内はる香 昭和63年
平成2年
男子 2位 谷内 耕平 平成3年
3位 谷内 耕平 昭和63年

平成2・3年

3位 花岡 武 昭和63年

◆北信越ジュニア選手権大会

14歳女子 優勝 三沢 香織 昭和60年

14歳女子 3位 三沢 香織 昭和58年

16歳女子 優勝 三沢 香織 昭和61年

◆全日本ジュニア選手権長野県大会

12歳女子 優勝 尾又明日香 昭和63年

2位 谷内はる香 平成元・2年

男子 2位 谷内 耕平 平成3年

14歳女子 優勝 尾又明日香 平成元年

2位 尾又 綾香 平成2年

16歳女子 3位 尾又 綾香 平成3年

◆全国小学生テニス選手権長野県大会

12歳女子 優勝 尾又明日香 平成元年

谷内はる香 平成2年

2位 谷内はる香 平成元年

男子 2位 谷内 耕平 平成3年

3位 谷内 耕平 平成2年

◆全国中学テニス選手権長野県大会

14歳女子 3位 尾又 綾香 平成2年

16歳女子 優勝 尾又 綾香 平成3年

◆ダンロップ全国選抜ジュニア大会長野県予選

12歳女子 優勝 尾又明日香 昭和63年

14歳女子 優勝 尾又明日香 平成元年

3位 尾又 綾香 平成元年

◆ダンロップカップ全国選抜長野県大会

12歳女子 2位 谷内はる香 平成元年

男子 3位 谷内 耕平 平成2年

14歳女子 優勝 谷内はる香 平成2年

(6) 長野県庭球室内選手権大会

昭和48年、長野県庭球協会では、年間通しての競技力向上と53年の長野国体に向けての選手強化を計るため、第1回室内選抜選手権大会を松本市にて開催した。昭和51年岡谷市に市民総合体育館が完成したのを機に、第4回大会からは長野県庭球室内選手権大会として岡谷市にて開催され、県下の選抜された一線級の選手がダブルスに覇を競った。数多くの名勝負、名場面を繰り広げたこの

大会は、平成2年松本市水汲^{みずくま}の室内テニスコート
の完成により松本市へ移管された。

〈大会結果〉

第4回 昭和51.11.21

一般男子

1位 三村 明(塩尻)・涼 勉(上田)

2位 藤原 吉彦(諏訪)・小松 高志(松本)

3位 小林 洋一(上田)・竹内 利夫(上田)

三村 功(塩尻)・赤坂 克也(松本)

壮年男子

1位 伊藤 祐一(上田)・山本清一郎(松本)

2位 下里 一郎(松本)・村瀬清一郎(松本)

一般女子

1位 島 幸子(松本)・白井 千恵(松本)

2位 田中ふさ子(岡谷)・花岡恵美子(岡谷)

第5回 昭和52.11.27

一般男子

1位 三村 明(塩尻)・涼 勉(上田)

2位 藤原 吉彦(諏訪)・浜 正英(松本)

3位 名取 時春(諏訪)・大浦 敏孝(諏訪)

須藤 宏(松本)・市川 和夫(松本)

第6回 昭和53.11.23

一般男子

1位 小林 洋一(上田)・木曾 茂(松本)

2位 吉田 秀幸(松本)・小林 茂雄(松本)

3位 藤原 吉彦(諏訪)・須藤 宏(松本)

小松 深志(松本)・市川 俊晴(松本)

一般女子

1位 吉崎つるよ(松本)・島 京子(松本)

2位 有賀 和代(伊那)・唐沢 博子(伊那)

第7回 昭和54.11.11

一般男子

1位 神谷 修(松本)・脇田 重明(松本)

2位 市川 和夫(伊那)・松浦 強(伊那)

3位 大浦 敏孝(諏訪)・増田 純二(諏訪)

飯田 庄吉(岡谷)・鈴木 善博(岡谷)

一般女子

1位 有賀 和代(伊那)・大石 香子(伊那)

2位 牛山 秀子(岡谷)・矢沢 洋子(松本)

第8回 昭和55.11.9

一般男子

1位 藤原 吉彦(諏訪)・降幡 隆繁(諏訪)

- 2位 大浦 敏孝(諏訪)・増田 純二(諏訪)
 3位 市川 和夫(伊那)・松浦 強(伊那)
 文挾 広信(岡谷)・浜 光彦(岡谷)

一般女子

- 1位 島 京子(松本)・吉崎つるよ(松本)
 2位 田中 照代(上田)・佐藤 朋江(上田)

第9回 昭和56.11.8

一般男子

- 1位 鈴木 善博(岡谷)・文挾 広信(岡谷)
 2位 井上喜重郎(岡谷)・浜 光彦(岡谷)
 3位 名取 時春(富士見)・穂坂 節(富士見)
 五十嵐敏晴(岡谷)・林 信行(岡谷)

一般女子

- 1位 尾又 道子(岡谷)・三沢 国恵(岡谷)
 2位 小坂のり子(岡谷)・藤森 保代(岡谷)
 3位 田中 照代(上田)・佐藤 朋江(上田)
 松尾かおる(松本)・高山 洋子(松本)

第10回 昭和57.11.27

一般男子

- 1位 鈴木・文挾(岡谷)
 2位 飯島・牛山(岡谷)
 3位 三村・中村(茅野) 浜 ・ 星(岡谷)

一般女子

- 1位 尾又・小口(岡谷)
 2位 西尾・北村(塩尻)

第11回 昭和58.11.27

一般男子

- 1位 飯島・神崎(岡谷)
 2位 飯塚・宇野(軽井沢)
 3位 浜 ・ 星(岡谷) 三村・中村(茅野)

一般女子

- 1位 上条・皿井(松本)
 2位 平野・奥原(松本)
 3位 松尾・伊沢(松本) 江森・高山(松本)

第12回 昭和59.11.25

一般男子

- 1位 小林・穂坂(富士見)
 2位 神崎・飯島(岡谷)
 3位 伊藤・太田(駒ヶ根) 藤原・米田(岡谷)

一般女子

- 1位 百瀬・尾又(岡谷)
 2位 風間・御子柴(岡谷)

- 3位 五味・藤森(岡谷)

第13回 昭和60.11.24

一般男子

- 1位 丸山・吉崎(松本)
 2位 文挾・宮崎(岡谷・駒ヶ根)
 3位 神崎・飯島(岡谷) 吉田・市川(松本)

一般女子

- 1位 尾又・小川(岡谷・茅野)
 2位 面高・片桐(駒ヶ根)
 3位 中村・浜(茅野) 上沼・小口(岡谷)

第14回 昭和61.11.30

一般男子

- 1位 丸山・原田(松本)
 2位 榊原・小林(松本)
 3位 飯田・伊藤(松本) 神崎・飯島(諏訪)

一般女子

- 1位 上条・吉崎(松本)
 2位 尾又・小川(岡谷)
 3位 面高・久保田(駒ヶ根)
 小尾・藤森(諏訪)

第16回 昭和63.12.4

一般男子

- 1位 神崎・三村(茅野)
 2位 鷹野・橋詰(軽井沢)
 3位 帖佐・浜(岡谷) 原田・内山(飯田)

一般女子

- 1位 西村・岩井(松本・諏訪)
 2位 矢部・小池(諏訪)
 3位 白井・佐伯(松本) 石田・辻(茅野)

第17回 平成元.12.10

一般男子

- 1位 神崎・三村(諏訪)
 2位 内山・小松(飯田)
 3位 鷹野・橋詰(軽井沢) 中村・笹川(茅野)

一般女子

- 1位 杉本・宮下(岡谷)
 2位 内藤・小池(茅野)
 3位 守屋・太田(諏訪)
 佐藤・吉田(下諏訪)

第18回 平成2.12.2

一般男子

- 1位 橋詰 彰生・鷹野 豊(軽井沢)

- 2位 笹川 康成・依田 和衛 (茅野・岡谷)
- 3位 帖佐 修平・金田 隆一 (岡谷・諏訪)
- 谷口 博・牧野 嘉春 (駒ヶ根)

一般女子

- 1位 岩井 幸美・代田美恵子 (下諏訪・諏訪)
- 2位 肥野千保子・内藤 豊江 (駒ヶ根・茅野)
- 3位 内藤 澄子・小池いみ子 (茅野・富士見)
- 浜 はるみ・後藤久美子 (諏訪・県)

第19回 平成3.12.22

一般男子

- 1位 降旗 泰幸・依田 和衛 (下諏訪・岡谷)
- 2位 橋詰 彰生・鷹野 豊 (軽井沢)
- 3位 帖佐 修平・浜 光彦 (岡谷)
- 宮前 章・新井 紀弘 (駒ヶ根)

一般女子

- 1位 岩井 幸美・代田美恵子 (下諏訪・諏訪)
- 2位 吉田さよみ・太田美保子 (下諏訪・諏訪)
- 3位 小池いみ子・内藤 澄子 (富士見・茅野)
- 中畑 康子・石田わか子 (岡谷・茅野)

4 組織・役員

(1) 歴代役員

○昭和35年岡谷ローンテニスクラブ結成～長野県庭球協会に加盟する

- 名誉会長 笠原 英一 (岡谷市体協会長)
- 会長 西川 武男 (帝ピス)
- 副会長 浜 稲雄 (岡谷東高校長)
- 北村 晴夫 (帝ピス)
- 理事長 楠山 紀夫 (オリンパス)
- 理事 笠原 剛志 (帝ピス)
- 小林 佑 (東京精密工業)
- 和田 年男 (養命酒)
- 会計 新村 直治 (帝ピス)
- 会計監事 征矢 功 (オリンパス)
- 顧問 小口惣五郎 (岡谷市体協副会長)
- 今井俊一郎 (岡谷市体協副会長)
- 小口 栄 (岡谷市体協庭球部長)
- 参与 岩井 清明 (岡谷市体協庭球副部長)
- 小口 泰良 (岡谷市体協庭球副部長)
- 鳴沢 偉次 (岡谷市体協庭球副部長)

林 忠男 (岡谷市教育委員会)

○昭和36年岡谷ローンテニスクラブ～岡谷市体協に加盟し岡谷市体協硬式庭球部発足する

- 部長 此田 滋 (大成堂時計店)
- 副部長 征矢 功 (オリンパス)
- 飯田 庄吉 (帝ピス)
- 岡谷ローンテニスクラブ
- 会長 西川 武男 (帝ピス)
- 副会長 北村 晴夫 (帝ピス)
- 楠山 紀夫 (オリンパス)
- 会計 飯田 庄吉 (帝ピス)
- 会計監事 和泉屋啓二 (諏訪精工舎)
- 理事長 此田 滋 (大成堂時計店)
- 理事 角田 憲治 (三協)
- 征矢 功 (オリンパス)
- 中島 益男 (岡谷工業高校)
- 花沢 衛 (帝ピス)
- 保科 幸子 (帝ピス)

○昭和37年岡谷ローンテニスクラブ理事制を導入

- 理事長 此田 滋 (大成堂時計店)
- 会計 飯田 庄吉 (帝ピス)
- 企画 征矢 功 (オリンパス)
- 理事 花沢 衛 (帝ピス) 藤村 幸男 (三協)
- 中島 益男 (岡谷工業高校)
- 監事 佐藤 修一 (オリンパス)

○昭和39年岡谷ローンテニスクラブ

- 会長 此田 滋 (大成堂時計店)
- 理事 征矢 功 (オリンパス)
- 岡 重之 (贄田建設)
- 中村 宣弘 (岡谷東高校)
- 会計 飯田 庄吉 (帝ピス)
- 監事 佐藤 修一 (オリンパス)

○昭和40年岡谷市体協硬式庭球部消滅

○昭和44年長野県庭球協会副会長に佐藤修一 (岡谷ローンテニスクラブ) が就任する

○昭和45年岡谷市体協硬式庭球部6年ぶりに復活

- 部長 辛山 永松 (辛山商店)
- 副部長 飯田 庄吉 (帝ピス)
- 井上喜重郎 (オリンパス)
- 佐藤 修一 (オリンパス)

○昭和49年岡谷市体協硬式庭球部

- 部長 井上喜重郎 (オリンパス)

副部長 辛山 永松 (辛山商店) 飯田 庄吉 (帝ピス)
佐藤 修一 (オリンパス)

○昭和50年岡谷ローンテニスクラブ

会長 佐藤 修一 (オリンパス)
副会長 飯田 庄吉 (帝ピス) 辛山 永松 (辛山商店)
白沢 健夫 (三協)

理事長 井上喜重郎 (オリンパス)

理事 高田 弘 (帝ピス)
徳武 省三 (岡谷電機産業)

恒藤 克彦 (オリンパス)

小林 進 (三協)

五味 久幸 (オリンパス)

小口 明彦 (岡谷市役所)

会計 林 賢二 (オリンパス)

監事 氏原 孝志 (三協)

鈴木 善博 (帝ピス)

○昭和50年岡谷市体協硬式庭球部は岡谷市庭球協会に改称

○昭和52年岡谷市庭球協会

会長 飯田 庄吉 (帝ピス)

副会長 辛山 永松 (辛山商店)

理事長 井上喜重郎 (オリンパス)

○昭和53年飯田庄吉が長野県庭球協会副会長に就任, 岡谷市庭球協会は長野県庭球協会へ加盟

○昭和54年岡谷市庭球協会は個人加盟から団体加盟に移行

加盟団体 岡谷ローンテニスクラブ サンライズテニスクラブ サングリーンテニスクラブ 諏訪湖ローンテニスクラブ 市役所 帝ピス オリンパス 杏林 岡谷電機産業 山和電機

○昭和56~57年岡谷市庭球協会は岡谷市テニス協会に改称, 競技・指導・総務の3専門部を設置, 役員の任期を県テニス協会と同じ2年とする。

会長 井上喜重郎 (オリンパス)

副会長 辛山 永松 (岡谷ローン)

理事長 井上 勝 (岡谷ローン)

顧問 飯田 庄吉 (帝ピス)

相談役 小口 栄 (諏訪湖ローン)

会計 鈴木 善博 (帝ピス)

藤森 保代 (サンライズ)

監事 小口 明彦 (市役所)

三沢 圭介 (サンライズ)

競技部長 文挟 広信 (杏林)

副部長 清水 英二 (市役所) 星 康弘 (杏林)

指導部長 牛山 国博 (諏訪湖ローン)

副部長 林 信行 (諏訪湖ローン)

総務部長 浜 光彦 (岡谷ローン)

副部長 浜野 修一 (サンライズ)

○昭和58年井上喜重郎が長野県テニス協会指導部副部長に就任, 昭和59年婦人部を設置

会長 井上喜重郎 (オリンパス)

副会長 三沢 圭介 (サンライズ) 文挟 広信 (杏林)

上沼 縁 (サングリーン)

理事長 鈴木 善博 (帝ピス)

顧問 小口 栄 (岡谷ローン)

飯田 庄吉 (帝ピス)

三沢 靖弘 (諏訪湖ローン)

会計 杉本晋太郎 (岡谷ローン)

藤森 保代 (サンライズ)

監事 牛山 国博 (諏訪湖ローン)

浜野 修一 (サンライズ)

総務部長 尾又 順一 (オリンパス)

副部長 武笠 貞夫 (京セラ)

小坂のり子 (諏訪湖ローン)

五味 桂子 (市役所)

指導部長 浜 光彦 (マウントII)

副部長 飯島 俊治 (諏訪湖ローン)

牛山 秀子 (サングリーン)

大谷 聡 (諏訪湖ローン)

競技部長 清水 英二 (市役所)

副部長 星 康弘 (杏林)

岡 秀明 (オリンパス)

帖佐 修平 (帝ピス)

婦人部長 小口 朝子 (サングリーン)

副部長 高橋 静子 (サングリーン)

高林 君代 (サングリーン)

○昭和60~61年…ジュニア部設置, 井上喜重郎が長野県テニス協会副理事長に就任

会長 井上喜重郎 (オリンパス)

副会長 三沢 圭介 (サンライズ)

文挟 広信 (杏林)

上沼 縁 (サングリーン)

理事長 鈴木 善博 (帝ピス)

副理事長 清水 英二 (市役所)

浜 光彦 (マウントII)

顧問 小口 栄 (諏訪湖ローン)

飯田 庄吉 (帝ビス)
 三沢 靖弘 (諏訪湖ローン)
 宮沢平八郎 (諏訪湖ローン)
 藤巻 護 (マウントII)

会 計 杉本晋太郎 (岡谷ローン)
 藤森 保代 (岡谷ローン)

監 事 小林 睦巳 (ミドル)
 徳武 省三 (岡谷電機産業)

総務部長 尾又 順一 (オリンパス)
 副 部 長 武笠 貞夫 (京セラ)
 石川 淑江 (市役所)
 浜 勉 (市役所)

指導部長 今井 博一 (岡谷ローン)
 副 部 長 宮下 三朝 (諏訪湖ローン)
 小坂のり子 (諏訪湖ローン)

競技部長 帖佐 修平 (帝ビス)
 副 部 長 米田 正永 (岡谷ローン)
 小口真由美 (サングリーン)

ジュニア部長 原 光生 (サンライズ)
 副 部 長 入野 友蔵 (サンライズ)
 三沢 国恵 (諏訪湖ローン)
 尾又 道子 (岡谷ローン)

婦人部長 小口 貞子 (サングリーン)
 副 部 長 野口 洋子 (サングリーン)
 高橋 静子 (サングリーン)

○昭和62年早朝部を設置・井上喜重郎転勤により離岡

会 長 井上喜重郎 (オリンパス)
 飯田 庄吉 (帝ビス)

副 会 長 三沢 圭介 (サンライズ)
 文挟 広信 (杏林)
 上沼 縁 (サングリーン)

理 事 長 帖佐 修平 (帝ビス)
 副理事長 清水 英二 (市役所)

顧 問 宮沢平八郎 (諏訪湖ローン)
 藤巻 護 (マウントII)
 三沢 靖弘 (諏訪湖ローン)

会 計 杉本晋太郎 (岡谷ローン)
 藤森 保代 (岡谷ローン)

監 事 小林 睦巳 (ミドル)
 鈴木 善博 (帝ビス)

総務部長 浜 勉 (市役所)
 副 部 長 村上 弘行 (マウントII)

田中 貴 (ダイヤ精機)

指導部長 今井 博一 (岡谷ローン)
 副 部 長 宮下 三朝 (諏訪湖ローン)
 小池 佐良 (岡谷ローン)

競技部長 浜 光彦 (マウントII)
 副 部 長 清水 英二 (市役所)
 塩原 高男 (帝ビス)

ジュニア部長 尾又 順一 (オリンパス)
 副 部 長 入野 友蔵 (サンライズ)
 山岡 永生 (岡谷工高)

早朝部長 原 光生 (サンライズ)
 副 部 長 小林 康孝 (サンライズ)
 笠原 壮平 (パコン)

○昭和63年帖佐修平が長野県テニス協会副理事長に就任

会 長 原 光生 (サンライズ)
 副 会 長 三沢 圭介 (サンライズ)
 文挟 広信 (杏林)
 上沼 縁 (サングリーン)

理 事 長 帖佐 修平 (帝ビス)
 副理事長 清水 英二 (市役所)
 相 談 役 飯田 庄吉 (帝ビス)

会 計 杉本晋太郎 (岡谷ローン)
 藤森 保代 (岡谷ローン)

監 事 小林 睦巳 (ミドル)
 鈴木 善博 (帝ビス)

総務部長 浜 勉 (市役所)
 副 部 長 村上 弘行 (マウントII)
 田中 貴 (ダイヤ精機)

指導部長 今井 博一 (岡谷ローン)
 副 部 長 小池 佐良 (岡谷ローン)

競技部長 浜 光彦 (マウントII)
 副 部 長 清水 英二 (市役所)
 塩原 高男 (帝ビス)

ジュニア部長 尾又 順一 (オリンパス)
 副 部 長 入野 友蔵 (サンライズ)
 小口 勝 (サンライズ)

早朝部長 小林 康孝 (サンライズ)
 副 部 長 笠原 壮平 (パコン)
 北村 俊二 (エコー)

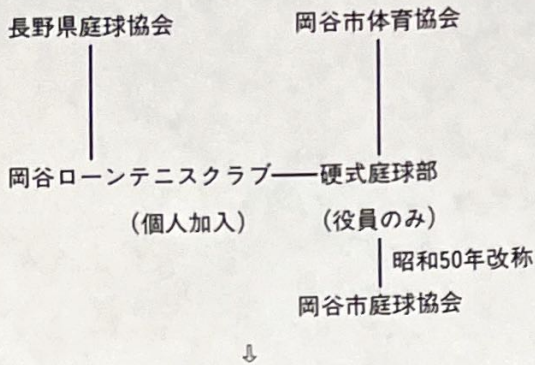
○平成元～2年 指導部は平成2年より強化指導部に変更

会 長 原 光生 (サンライズ)
 副 会 長 三沢 圭介 (サンライズ)

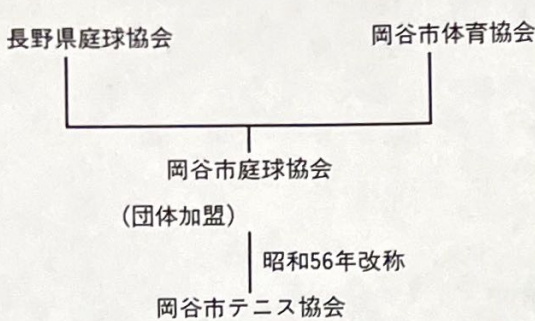
理事長 文挾 広信 (杏林)
 副理事長 上沼 縁 (サングリーン)
 相談役 帖佐 修平 (帝ピス)
 会計 清水 英二 (市役所)
 監事 飯田 庄吉 (帝ピス)
 総務部長 杉本晋太郎 (岡谷ローン)
 副部長 今沢 明美 (エコー)
 指導部長 宮沢平八郎 (諏訪湖ローン)
 副部長 藤巻 護 (マウントII)
 競技部長 浜 勉 (市役所)
 副部長 笠原 祥一 (マウントII)
 指導部長 田中 貴 (ダイヤ精機)
 副部長 今井 博一 (岡谷ローン)
 競技部長 堀内 忠美 (エコー)
 副部長 浜 光彦 (マウントII)
 ジュニア部長 林 信行 (マウントII)
 副部長 塩原 高男 (帝ピス)
 ジュニア部長 尾又 順一 (オリンパス)
 副部長 入野 友蔵 (サンライズ)
 早朝部長 小口 勝 (サンライズ)
 副部長 小林 康孝 (サンライズ)
 早朝部長 今井 正喜 (エコー)
 副部長 大井 毅 (サンライズ)
 ○平成3~4年
 会長 原 光生 (サンライズ)

副会長 帖佐 修平 (帝ピス)
 理事長 文挾 広信 (杏林)
 副理事長 上沼 縁 (サングリーン)
 相談役 尾又 順一 (オリンパス)
 会計 今井 博一 (岡谷ローン)
 監事 浜 光彦 (マウントII)
 総務部長 小林 康孝 (サンライズ)
 副部長 飯田 庄吉 (帝ピス)
 指導部長 杉本晋太郎 (岡谷ローン)
 副部長 五味 優子 (エコー)
 競技部長 宮沢平八郎 (諏訪湖テニス)
 副部長 清水 英二 (市役所)
 強化指導部長 浜 勉 (市役所)
 部員 笠原 祥一 (マウントII)
 競技部長 堀内 忠美 (エコー)
 副部長 山田 剛司 丸山 稔
 ジュニア部長 依田 和衛 (エコー)
 副部長 塩原 高男 (帝ピス)
 早朝部長 小口 勝 (サンライズ)
 副部長 美濃羽嘉樹 (ジュニア)
 早朝部長 堀江 啓夫 (諏訪湖テニス)
 副部長 大井 毅 (サンライズ)
 レイティ
 ング担当 浜 正喜 (エコー)
 入野 友蔵 (サンライズ)

(2) 組織の変遷



昭和35年～昭和52年
 長野県庭球協会に加盟は岡谷ローンテニスクラブで諏訪地区一円より個人加入していた。
 岡谷市体育協会に加盟は硬式庭球部であり、岡谷ローンテニスクラブは役員のみ派遣した。



- | |
|--------|
| 岡谷ローン |
| 諏訪湖ローン |
| サンライズ |
| サングリーン |
| オリンパス |
| 帝ピス |
| 岡谷市役所 |
| 杏林 |
| 山和電機 |
| 岡谷電機産業 |

昭和53年は移行期間で昭和54年団体加盟に全面移行した。

昭和54年加盟団体

京セラ	サンコー	天竜工業	オサチ工業
ダイヤ精機	エコー	パコン	ロビング
ロクサン	ファミリー	ジョイ	ミドル
バーバチュー	マウントII	ユニバース	岡谷工業高校
ジュニア	早起き	ブルーロイヤルズ	岡谷東高校

昭和55年以降の加盟団体

エコー	岡谷工業高校	岡谷ローン	オリンパス
京セラ	杏林製菓	サングリーン	サンライズ
ジュニア	ジョイテニス	諏訪湖テニス	ダイヤ精機
帝ピス	パコン	マウントII	ミドル
ユニバース	ロビング	早起き	岡谷市役所
ブルーロイヤルズ			

平成3年加盟団体

昭和53年～岡谷市庭球協会が長野県庭球協会に加盟すること、岡谷市庭球協会は加盟団体をもって組織すること、加盟団体は10名以上で構成し、理事1名以上を選出し理事会を組織その決議により協会を運営するに変更し、岡谷ローンテニスクラブは1クラブとして岡谷市庭球協会へ加盟し構成員となる。岡谷ローンテニスクラブ員は分散独立し団体加盟を促進した。

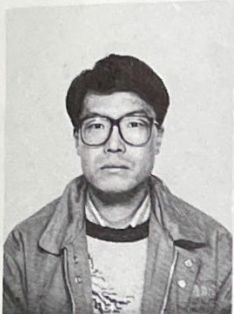
5 輝かしき戦績



○飯田 庄吉…◆長野県選手権大会Best 4 昭和38年 ◆国体長野県予選3位 昭和39年 ◆岡谷大会3位 昭和48年 2位 昭和54年 ◆その他県大会に数多く入賞



○佐藤修一…◆長野県選手権大会Best 4 昭和38年 3位 昭和41年 ◆その他県大会に数多く入賞



○今井 博一…◆長野県選手権大会Best 8 昭和57・58・60・61年 Best 16 昭和59・62・平成元年 ◆国体長野県予選Best 4 昭和58年 Best 8 昭和57年 Best 16 昭和59・61年 ◆岡谷大会優勝 昭和63年 2位 61年 3位 昭和59・60年



○牛山 秀子…◆長野県選手権大会(S)優勝 昭和56・62年 準優勝 昭和58・59・63年 3位 昭和60・61年 (W)優勝 昭和56・57・60・61・63年 準優勝 平成1年 ◆国体長野県予選(成年女子)優勝 昭和63年 準優勝 平成1年 Best 4 昭和61・62年 ◆朝日レディーステニス長野県大会優勝 昭和54・55・57・59・61年 ◆北信越ランキ

ング(W)1位 平成1年 (S)4位 昭和63年 6位 平成1年 ◆その他特筆すべき戦績 平成2年関東オープンテニス選手権大会40歳女子(W)準優勝 毎日テニス選手権大会40歳女子(W)優勝 全日本ベテランテニス選手権大会準優勝 ◆全日本ランキング40歳女子(W)2位



○小坂のり子…◆長野県選手権大会(W)優勝 昭和58・59・60・61年 2位 昭和56年 (S)3位 昭和58・59・60・61年 ◆国体長野県予選(成年女子S)2位 ⇒北信越予選に出場 Best 4 昭和58・59・60・61年 ◆エプソンカップ(W)優勝 昭和58・59・

61年 3位 昭和60年 ◆山本清一郎杯優勝(S)昭和59年・60年 3位 昭和61年 (W)2位 昭和60・61年 ◆その他岡谷大会 松本大会 ボルグ杯セゾン女子Wテニストーナメント 長野県室内選手権大会等に優勝または上位入賞した



○三沢 香織…◆長野県ジュニア選手権大会(S)準優勝 昭和56年 (W.S)優勝 昭和57・58・59・60年 ◆北信越ジュニア選手権大会(W)優勝 昭和60年・(W.S)61年・(S)64年 ◆マルコウーウインブルドンジュニア長野県予選(S)3位 昭和61年 優勝

昭和62・63年,北信越3位 平成元年 北信越2位 ⇒全国大会Best 32 ⇒ジャルカップジュニア推薦出場 ◆高校総体長野県予選(S)優勝 昭和62・64年 準優勝 昭和63年 ◆長野県選手権大会(S.W)優勝 昭和63・平成1年 (S)平成2年 ◆国体長野県予選(少年女子S)2位 昭和62年 優勝 平成元年(成年女子S)優勝 平成2年,北信越予選3位 ⇒本国体出場権獲得。◆北信越ランキング1位 平成2年 関東学生(W)ランキング16位 平成3年 JOP(日本オープンポイントランキング)133位 平成3年



○尾又 道子…◆長野県室内選
手権大会 (W) 優勝 昭和56・
59・60・62・平成2年 長野
県選手権大会 (S) 3位 昭和
58・60・62年 (W) 優勝 平
成2年 ◆長野県庭球岡谷大
会優勝 昭和59・61年 ◆そ
の他伊那大会・上田大会・松
本大会・エブソンカップ 山

本清一郎杯等優勝および上位入賞した ◆特筆すべき戦
績 昭和63年朝日レディース全国決勝大会1回戦鹿児島
2回戦福島 3回戦高知 準々決勝滋賀 準決勝茨城
3位決定戦大阪 全国4位入賞 (長野県で初)

(2) 長野県テニスランキング選手

(岡谷市テニス協会・岡谷ローンテニス会員関係)

S. 47

一般男子単 3位 藤森 吉彦 7位 白沢 健夫
13位 佐藤 修一
一般男子複 3位 藤森 吉彦・白沢 健夫
7位 佐藤 修一・井上喜重郎

S. 48

一般男子単 3位 藤森 吉彦 12位 佐藤 修一
13位 白沢 健夫 14位 辛山 永松
一般男子複 3位 藤森 吉彦・伊藤 光一
8位 白沢 健夫・辛山 永松

S. 49

一般男子単 6位 藤森 吉彦 12位 名取 時春
15位 佐藤 修一 19位 井上喜重郎
20位 白沢 健夫
一般男子複 2位 藤森 吉彦・小松 高志 (松本)
8位 佐藤 修一・井上喜重郎
10位 白沢 健夫・辛山 永松

S. 50

一般男子単 2位 藤森 吉彦 8位 名取 時春
一般男子複 2位 藤森 吉彦・小松高志 (松本)

S. 51

一般男子単 2位 藤原 吉彦 20位 飯田 庄吉
一般男子複 5位 藤原 吉彦・三村 功 (松本)

S. 52

一般男子単 2位 藤原 吉彦 7位 萩原 邦彦

12位 飯田 庄吉 14位 名取 時春
一般男子複 2位 藤原 吉彦・萩原 邦彦
一般女子複 4位 田中ふさ子・有賀 和代 (伊那)

S. 53

一般男子単 6位 藤原 吉彦 13位 萩原 邦彦
一般男子複 1位 藤原 吉彦・萩原 邦彦

S. 54

一般男子単 3位 藤原 吉彦

S. 55

一般男子単 1位 藤原 吉彦 8位 萩原 邦彦
16位 名取 時春
一般女子単 8位 牛山 秀子

S. 56

一般男子単 2位 藤原 吉彦 15位 萩原 邦彦
一般男子複 6位 藤原 吉彦・萩原 邦彦
一般女子単 5位 牛山 秀子
一般女子複 1位 牛山秀子・矢沢 洋子
2位 小坂のり子・萩原 志ほ

S. 57

一般男子単 5位 今井 博一

S. 58

一般男子単 3位 今井 博一 19位 浜 光彦
男子45単 5位 飯田 庄吉
男子35複 5位 牛山 国博・飯島 俊治
一般女子単 2位 牛山 秀子 2位 小坂のり子
4位 尾又 道子
一般女子複 1位 牛山 秀子・小坂のり子
女子40単 2位 小口 朝子
一般女子複 1位 牛山 秀子・小坂のり子
5位 尾又 道子・小口 朝子

S. 59

一般男子単 8位 今井 博一
男子35単 12位 牛山 国博 12位 百瀬 晃
男子45単 12位 飯田 庄吉
男子35複 18位 井上喜重郎・宮坂 富雄
18位 茅野 勝彦・百瀬 晃
18位 牛山 国博・飯島 俊治
男子45複 12位 三沢 圭介・原 光生
12位 宮沢平八郎・内山 勇
一般女子単 2位 牛山 秀子 3位 尾又 道子
4位 小坂のり子 16位 小口真由美
一般女子複 1位 牛山 秀子・小坂のり子

19位 小口真由美・中畑 康子
 19位 五味 佳子・藤森 保代

小中学女子単 1位 三沢 香織
 小中学女子複 1位 三沢 香織
 小中学男子複 2位 牛越 智彦

S. 60

一般男子単 6位 今井 博一
 一般女子単 3位 小坂のり子 5位 牛山 秀子
 一般女子複 1位 尾又 道子 3位 小坂のり子
 4位 牛山 秀子

S. 61

一般男子単 8位 今井 博一
 男子 35 単 17位 牛山 国博
 一般女子単 3位 尾又 道子 4位 小坂のり子
 7位 牛山 秀子 17位 藤森 保代
 一般女子複 1位 小坂のり子 2位 牛山 秀子
 7位 尾又 道子

S. 62

一般男子単 12位 今井 博一 53位 浜 光彦
 一般男子複 50位 帖佐 修平 50位 浜 光彦
 男子 45 複 14位 飯田 庄吉
 一般女子単 2位 牛山 秀子 5位 尾又 道子
 32位 藤森 保代
 一般女子複 6位 尾又 道子 17位 増沢のり子
 17位 牛山 秀子
 高校女子単 1位 三沢 香織

S. 63

一般男子単 18位 今井 博一 62位 浜 光彦
 一般男子複 26位 帖佐 修平 55位 浜 光彦
 男子 35 単 3位 帖佐 修平
 一般女子単 1位 牛山 秀子 29位 藤森 保代
 一般女子複 3位 尾又 道子 6位 牛山 秀子
 高校女子単 2位 三沢 香織

H. 1

一般男子単 21位 今井 博一 47位 杉本晋太郎
 一般男子複 34位 今井 博一 49位 帖佐 修平
 男子 35 単 5位 帖佐 修平 17位 浜 勉
 18位 林 信行 18位 笠原 祥一
 男子 45 単 16位 飯田 庄吉
 一般女子単 2位 牛山 秀子 12位 宮下 千浪
 29位 杉本久仁子
 一般女子複 9位 尾又 道子 20位 牛山 秀子

39位 宮下 千浪

H. 2

一般男子単 25位 今井 博一 43位 帖佐 修平
 一般男子複 23位 今井 博一 60位 帖佐 修平
 男子 35 単 14位 笠原 祥一
 男子 45 単 18位 飯田 庄吉 20位 浜 勉
 一般女子単 1位 三沢 香織 12位 牛山 秀子
 15位 宮下 千浪 34位 杉本久仁子
 一般女子複 1位 尾又 道子 6位 三沢 香織
 22位 宮下 千浪

(3) テニス公認資格者

日本体育協会

- スポーツ指導員(テニス)
 - 文挾 広信 (杏林)
 - 鈴木 善博 (帝ピス)
- 地域スポーツ指導員C級(テニス)
 - 文挾 広信 (杏林)
 - 尾又 順一 (オリンパス)
 - 原 光生 (サンライズ)
 - 今井 房子 (諏訪湖)
 - 尾又 道子 (諏訪湖)
 - 岡 秀明 (オリンパス)

日本テニス協会

- 一級指導員
 - 井上喜重郎 (オリンパス)
 - 小池 佐良 (岡谷ローン)
- 二級指導員
 - 今井 博一 (岡谷ローン)
 - 宮下 三朝 (岡谷ローン)
 - 牛山 秀子 (サングリーン)
- 審判員
 - 小池 佐良 (岡谷ローン)
 - 今井 博一 (岡谷ローン)
 - 牛山 秀子 (サングリーン)

長野県テニス協会

- 準指導員
 - 文挾 広信 (杏林)
 - 清水 英二 (市役所)
 - 浜 勉 (市役所)
 - 星 康弘 (杏林)
 - 原 光生 (サンライズ)

小口 朝子 (サングリーン)
 増沢のり子 (ミドル)
 尾又 道子 (諏訪湖)
 岡 秀明 (オリンパス)
 今井 房子 (諏訪湖)
 片倉 和夫 (ダイヤ精機)
 林 信行 (マウントII)
 帖佐 修平 (帝ビス)
 尾又 順一 (オリンパス)

●等級検定一級

杉本晋太郎 (岡谷ローン)
 鈴木 善博 (帝ビス)
 入野 友蔵 (サンライズ)
 牛山 国博 (JOY)
 三沢 靖弘 (諏訪湖)
 堀内 忠美 (エコー)
 藤森 保代 (岡谷ローン)
 五味 佳子 (市役所)
 宮下 千浪 (諏訪湖)
 上沼 縁 (サングリーン)
 宮坂 秀子 (サングリーン)
 今井 正喜 (エコー)
 池上 雄二 (エコー)

6 岡谷市テニス協会創立30周年 記念事業

(1) 記念式典

平成3年9月8日、ヘルシーパル岡谷を会場に協会創立30周年記念式典(原光生実行委員長)が、今までテニス協会を支えて育ててきた多くの来賓を迎え、加盟団体テニス愛好者多数の参加のもと盛大に開催された。30年を一つの節目とし過去を総括するとともに、今後のより発展と地域に密着した普及振興と世界に通じる選手育成を誓った。来賓は林泰章岡谷市長・(財)岡谷市体育協会征矢才副会長・小口悦司副会長・片倉真平専務理事・林五介常任理事・上沼保夫常任理事・杉村彰則常任理事、岡谷市教育委員会斎藤保人教育長・降幡昌良体育課長、軟式庭球協会山田武志会長・宮沢幸男理事長、岡谷市民新聞社薩摩光三社長、南信日日新聞社、ラケットショップ斎藤、スポーツハウスヤマカワ、協会功労者佐藤修一・井上喜重郎・飯田庄吉であった



写真10 テニス協会創立30周年記念式典 林市長始め来賓の皆さん



写真11 30時間リレーテニス 30時間達成される

(2) 記念イベント

30時間連続リレーテニス 9月7日9時スタート、9月8日15時までの30時間を加盟団体がポレー・スマッシュの二手に分かれ、2時間ずつダブルゲームを続けた。始球式は諏訪湖テニスオーナー斎藤勇一、終球式は原光生協会会長が締めを勤め、全協会員が相互の親睦と精神力・体力の限界に挑戦し見事30時間を達成した。

スコアーは264:264、宝探し・的当てゲームジュニア・一般市民を対象にコート上の賞品をジャンボラケットにてボールを当てるゲームで、楽しいひとときを過ごした。

(3) 記念品寄贈

30周年を記念し、今までホームコートとして数多くの選手の汗のしみ込んだ市営庭球場に感謝の意をこめて、イベントテント一組を寄贈し受納される。

(4) 記念事業組織

実行委員長	原 光生
副委員長	文挟 広信 帖佐 修平
事務局	尾又 順一 上沼 縁 杉本晋太郎 浜 省吉
ヘルシーパル責任者	文挟 広信
式典・懇親会担当	浜 勉 笠原 祥一 五味 優子
イベント責任者	帖佐 修平
30時間テニス担当	文挟 広信 杉本晋太郎 小林 康孝 浜 光彦 依田 和衛 協会理事全員
宝探し的当てゲーム	今井 博一 小口 勝
テニス教室担当	入野 友蔵 堀内 忠美 今井 博一 大井 毅

7 課題・展望

(1) 課題

テニスは誰でも気軽に楽しめるスポーツであるため、テニス人口は年々増加の一途にある。テニスを楽しむ人の目的は大別すると二通りになる。競技テニスを目指し、より強い選手になるべく練習に励む人と、レジャースポーツとしてテニスを楽しむ人である。この両者は、お互いに相反する面を持っており共存は困難であるが、テニス協会は全加盟者がそれぞれの目的に合ったテニスが楽しめるよう、思索し運営していくことが必要である。

(2) 展望・方針

テニス愛好者からなる競技団体として、永続的に市民の生涯スポーツとしてのテニスの振興に努めるとともに、倫理・技術面を兼ね備えた指導体制の構築により、長野県はもとより日本トップクラスの選手育成する。テニスの振興普及と競技力向上を図るには、小学生・中学生を中心としたジュニアの育成強化が不可欠である。現在県下で中学校にテニス部があるのは1～2の学校と少なく、市内では0である。そこで各中学にテニス部の設置を要望する土壌づくりが必要である。岡谷市ジュニアテニスチームは、保護者の協力を得ながら外部との交流を積極的に促進し選手育成強化を図る。